【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【公表番号】特表2013-530783(P2013-530783A)
【公表日】平成25年8月1日(2013.8.1)
【年通号数】公開・登録公報2013-041
【出願番号】特願2013-519140(P2013-519140)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/12

【手続補正書】
【提出日】平成26年6月18日(2014.6.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
生物学的組織（８）の出血領域（４）で生じる血液の流出を制御する装置であって、この領域（４）と対向して配置されるように設けられた可撓性プレート（２）を備え、前記可撓性プレートが、以下：
－前記生物学的組織（８）へ適用されて前記出血領域が囲繞されるのに適した実質的に気密性の周囲支持手段（３）と、
－前記支持手段（３）と共に中空空間（６）の範囲を定める、前記領域（４）と対向する後壁（５）と、及び
－吸引して前記周囲支持手段（３）に前記組織（８）の表面（７）を密接に適用するように前記中空空間（６）内に真空を形成するため、外部吸引源へ中空空間（６）を接続するように可撓性プレート（２）の外部に設けられた接続手段と、
を備え、
前記領域（４）と後壁（５）との間に配置されかつ後壁に実質的に垂直な軸に沿って前記領域（４）側でその中央が空洞化された中空スタッド（１１）であって、前記空間（６）内に真空が形成されるときに前記領域（４）と接触するように設けられた中空スタッド（１１）をさらに備えることを特徴とし、
前記生物学的組織（８）に適用されるのに適しておりかつ後壁の硬度と異なる硬度、好ましくは後壁の硬度より低い硬度を有する部分を備えることをさらに特徴とする、装置。
【請求項２】
前記生物学的組織（８）へ適用されるのに適しておりかつ後壁の硬度と異なる硬度を有する部分が周囲支持手段（３）を備えることを特徴とする、請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記生物学的組織（８）へ適用されるのに適した部分であって後壁の硬度と異なる硬度を有する部分が硬度０～５０ショアＡ、好ましくは３５ショアＡにほぼ等しい硬度を有することを特徴とする、請求項１又は２に記載の装置。
【請求項４】
前記後壁が硬度３５～８５ショアＡ、好ましくは５０ショアＡにほぼ等しい硬度を有することを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項５】

中空空間（６）を吸引源に接続するように設けられた接続手段（１４）が中空スタッド（１１）の内部へ通じていることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項６】
前記中空空間を吸引源に接続するように設けられた接続手段（１４）が前記後壁の側で中空スタッドの上部において中空スタッド（１１）の内部へ通じていることを特徴とする、請求項５に記載の装置。
【請求項７】
前記中空スタッドは、その空洞化された側が領域（４）と接触するときに、前記空間（６）内に形成された真空から隔離されるように設けられることを特徴とする、請求項１～４のいずれか一項に記載の装置。
【請求項８】
前記中空スタッド（１１）がその空洞化された内部（１３）を前記空間（６）に連結する穴を備えていないことを特徴とする、請求項７に記載の装置。
【請求項９】
前記中空スタッドが前記後壁に実質的に垂直な対称軸を持つ円筒形状を有していることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１０】
前記中空スタッドが止血接着剤又は止血製品などの製品が充填されるように設けられていることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１１】
前記後壁が、前記中空空間と吸引手段との間の接続手段を通らないで注射器によって貫通されて中空スタッド内に前記接着剤などの製品を注入するように設けられていることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１２】
前記接続手段が、後壁（５）の厚さ内に配置される中間収集ハウジングなしに中空空間（６）を接続させるように設けられていることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１３】
前記中空スタッドが前記後壁の中央に位置することを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１４】
前記中空スタッドが該中空スタッドを囲繞する空洞化されたリングを領域（４）の側で受容して中空スタッドとリングとの間の接合が密閉性を有するように設けられていることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１５】
前記領域（４）の側で前記中空スタッドを囲繞する空洞化されたリングを、中空スタッドと該リングとの間の接合が密閉性を有するように備えていることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１６】
前記リングが円筒形状を有していることを特徴とする、請求項１４又は１５に記載の装置。
【請求項１７】
前記リングが前記領域（４）の方向に広げられた形状を有していることを特徴とする、請求項１４又は１５に記載の装置。
【請求項１８】
周囲支持手段（３）と前記中空スタッドとの間に配置され、前記中空スタッドを囲繞し、かつ前記空間（６）内に真空が形成されるときに前記領域（４）と接触するように設けられたスカートを備えていることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。

【請求項１９】
前記スカートが後壁の中央に位置していることを特徴とする、請求項１８に記載の装置。
【請求項２０】
前記スカートが、前記領域（４）に向けられかつ空間（６）内に真空が形成されるときに前記領域（４）と接触するように設けられた歯を備えていることを特徴とする、請求項１８又は１９に記載の装置。
【請求項２１】
前記プレートの表面積を変え又はその断面を変えることを可能にする追加の部品（２０）を受容するように前記周囲支持手段（３）が設けられていることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項２２】
生物学的組織（８）へ適用されるのに適しておりかつ前記後壁の硬度と異なる硬度を有する部分が追加の部品（２０）を備えていることを特徴とする、請求項２１に記載の装置。
【請求項２３】
前記追加の部品（２０）が、該追加の部品（２０）と前記生物学的組織との間に位置するように配置されかつ追加の部品（２０）の硬度より低い硬度を有する中間シール（４０）を備えていることを特徴とする、請求項２１又は２２に記載の装置。
【請求項２４】
前記追加の部品が前記シール（４０）を受容するスリット（３９）を備えていることを特徴とする、請求項２３に記載の装置。
【請求項２５】
前記シールが硬度０～１０ショア００、好ましくは５ショア００にほぼ等しい硬度を有することを特徴とする、請求項２３又は２４に記載の装置。
【請求項２６】
前記後壁（５）が気密性かつ不透過性であることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【請求項２７】
前記領域（４）上でプレート（２）の位置決めを補助するカメラ（２４）を備えていることを特徴とする、前記請求項のいずれか一項に記載の装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０５】
パターン３５は、実質的に一定の表面密度で、面２７、２８上に規則的に（de maniere reguliere；evenly）分布している。